

平成 30 年度 国語科年間授業計画 [2年]

教科書：東京書籍

月	単元・教材	時数	単元の目標
4	1 こえに出して読もう ・風のゆうびんやさん ・としょかんへ行こう ・かん字のかき方に気をつけよう ・こんなことがあったよ	20	<ul style="list-style-type: none"> ●人物の行動や会話に着目し、言葉のまとまりに気をつけて声に出して読むことができる。 ●図書館の利用の仕方を理解することができる。 ●漢字の筆順と画数について理解することができる。 ●毎日の生活を振り返り、友達に伝えたい出来事を見つけて書くことができる。
5	2 たんぼぼのひみつを見つけよう ・たんぼぼ ・かたかなで書くことば ・ことばで絵をつたえよう ・かんさつしたことを書こう	28	<ul style="list-style-type: none"> ●順序に気をつけて、書かれていることを読むことができる。 ●片仮名で書く言葉について知り、正しく使うことができる。 ●絵の描き方について、聞き手に分かるように、順序に沿って事柄を詳しく話すことができる。 ●動植物の様子を、観点に沿って観察し、気づいたことを「かんさつカード」に詳しく書くことができる。
6	3 ばめんごとに読もう ・お手紙 ・まよい犬をさがそう	17	<ul style="list-style-type: none"> ●人物がしたことやそのときの様子を気をつけてお話を読むことができる。 ●だいじなことを落とさずに、集中して話を聞くことができる。
6	4 二つのせつめいをくらべよう ・ふろしきはどんなぬの ・主語とじゅつ語に気をつけよう ・じゅんじょよく書こう ・本は友だちしを読もう	57	<ul style="list-style-type: none"> ●カードと本の文章という二つの文章を読み比べ、それぞれの説明の違いに気づくことができる。 ●主語と述語の働きを理解し、主語と述語の照応した正しい文を書くことができる。 ●簡単な構成を考え、文章を書いて読み返し、間違いに気づいて正すことができる。 ●読書への興味を持ち、楽しんで本を読むことができる。 ●詩を声に出して読み、言葉の響きやリズムを楽しむことができる。 ●宝物を紹介するために、話す事柄を考えて、順序よく話すことができる。 ●宝物について、話し手が伝えたいだいじなことを落とさないように、興味を持って聞くことができる。 ●音節と文字との関係や、アクセントによる言葉の違いについて理解することができる。 ●神話や伝承の読み聞かせを聞いたり自分で読んだりして、そのおもしろさを知ることができる。 ●文字や言葉の使い方に誤りがないように気をつけて、伝えたいことを簡単な手紙に書くことができる。
7	・いろいろなおとのあめ ・空にぐうんと手をのばせ ・たからものをしようかしよう		
8 9	・声に出してみよう ・言いつたえられているお話を知ろう ・「ありがとう」をつたえよう		
9	5 声やうごきであらわそう ・名前を見てちょうだい ・絵を見てお話を作ろう	25	<ul style="list-style-type: none"> ●それぞれの場面の人物の様子を想像し、声や動きで表すことができる。 ●絵から場面の様子を想像し、一つ一つの場面がつながるように物語を書くことができる。
10	6 どうぶつのひみつをみんなできごろう ・ビーバーの大工事 ・なかまになることばをあつめよう	40	<ul style="list-style-type: none"> ●だいじなところに気をつけながら文章を読み、読んで調べたことをまとめることができる。 ●仲間になる言葉に関心を持ち、言葉を集めたり分類したりすることができる。 ●一人一人の考えをよく聞いて、話題に沿って話し合い、グループの考えをまとめることができる。 ●おもちゃの作り方や遊び方を、聞き手に分かりやすいように、順序よく工夫して説明することができる。
11	・あそびのやくそくを話し合おう ・「おもちゃ教室」をひらこう		

12	7 むかし話をしょうかいしよう ・かさこじぞう ・おくりがなに気をつけよう ・心がうごいたことを ・おばあちゃんに聞いたよ ・同じところ、ちがうところ ・ほんたいのいみのことば	39	●昔話を読み、おもしろいところを見つけ、カードに書いて友達に紹介することができる。 ●送り仮名について理解し、送り仮名に注意しながら漢字の読み書きをすることができる。 ●心が動いたときのことを思い出して、詩を書くことができる。 ●昔から伝わる生活に役立つ言い回しを声に出して読み、親しむことができる。 ●二つの物を比べて同じところと違うところを見つけ、それぞれを整理して文章に書くことができる。 ●反対の意味を表す言葉に関心を持ち、言葉を集めたり分類したりすることができる。
1			
2	8 あなたのやくわりを考えよう ・あなたのやくわり ・組み合わせたことばをつかおう ・名人をしょうかいしよう	29	●文章から読み取ったことをもとにして、身近にある穴の役割について説明することができる。 ●複合動詞の構成や意味を理解することができる。 ●書く事柄を整理して、紹介したいことが伝わるように「名人しょうかいカード」を書き、友達と読み合って感想を伝え合うことができる。
3	9 紙しばいをしよう ・ニャーゴ ・「ことばのアルバム」を作ろう	25	●それぞれの場面の様子を想像し、紙芝居で発表することができる。 ●一年間書いてきた文章を読み返し、一年間を振り返り、思い出を文章に書くことができる。
計		280 時間	

評価方法	学習の様子、準備物や家庭学習（長期休業の宿題を含む）、提出物の状況 ワークシート、ノート、作文等の作品、発言・スピーチの内容、テスト、読書カード等
家庭へのお願い	○学習で使用する物・・・教科書、国語ノート、漢字ノート、漢字ドリル ○家庭学習 音読（はっきりと、大きな声で、正しく） 平仮名や片仮名、漢字等の反復練習（書き順や字形、丁寧さ） 読書（1年間の目標80冊以上） ☆音読を聞いていただき、音読カードへのサインをお願いします。